

【ご参考】

三菱総合研究所ホームページ「「令和 3 年度 課題解決型ローカル 5G 等の実現に向けた開発実証 実証事業企画概要（2021 年 10 月 11 日）」より抜粋添付

17

大型複合国際会議施設におけるポストコロナを見据えた 遠隔監視等による安心・安全なイベントの開催

代表機関	株式会社野村総合研究所	分野	スマートシティ
実証地域	神奈川県横浜市 (パシフィコ横浜)	コンソーシアム	(株)野村総合研究所、(株)JTOWER、NECネットエスアイ(株)、総合警備保障(株)、ヤマハ(株)、(株)横浜国際平和会議場（パシフィコ横浜）、横浜市、(一社)横浜みなとみらい21
実証概要	ポストコロナ時代の大型複合施設での安全・安心なイベント開催においては警備品質の向上と効率化、感染予防対策の実施、イベントのハイブリッド化*が必要といった課題が存在。 ➢ ローカル5Gを活用し、安全・安心なハイブリッド型イベント*に向け、遠隔ロボット監視システム、混雑検知システムとサービス連携によるロボットによる混雑アナウンスシステム、および遠隔同期演奏システムの実証を実施。 ➢ ポストコロナ時代における、来訪者・施設管理者・主催者・出展者にとって安全・安心なイベントの開催を実現。		
技術実証	➢ 構造が異なる施設内の複数ホールにおける建物侵入損を考慮した電波伝搬モデルの精緻化、同期局と準同期局の実機を用いた共用検討を実施。 ➢ 周波数：4.7-4.8GHz帯、4.8-4.9GHz帯（各100MHz） 構成：SA方式 利用環境：屋内		

遠隔ロボット監視システム

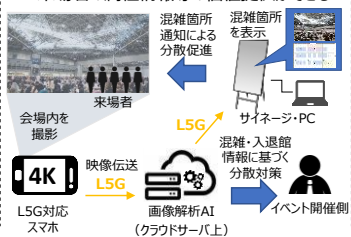
- ✓ 遠隔操縦、遠隔監視により、警備品質の向上と効率化を実現
- ✓ さらに混雑検知システムと連携し、自動走行と混雑アナウンスを行うことで利用シーンの拡大を図る



*ハイブリッド型イベント：会場に人が集まるリアルイベントと、ライブ配信等のオンラインイベントを組み合わせるイベント。

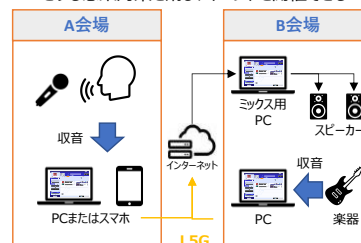
混雑検知システム

- ✓ 会場内での混雑検知や来場者への通知、分散促進を簡易な機器で実施できる
- ✓ 施設管理者は人数管理でき、開催側に来場者の属性情報等の価値提供ができる



遠隔同期演奏システム

- ✓ 遠隔での同時演奏を同期させることで、遠隔にいるアーティストとのセッションを実現させる
- ✓ 飛沫の飛散が懸念されるボーカルのみ別会場とする感染対策を講じ、イベントを開催できる



出所）三菱総合研究所ホームページ

(https://www.mri.co.jp/news/public_offering/dia6ou000003jcnd-att/R3local5g-kikakugaiyou.pdf)